

令和4年9月9日

独立行政法人日本学術振興会

ノーベル賞受賞者が市民と対話する公開シンポジウム

「ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2022」

Water Matters 水から考える持続可能な未来

独立行政法人日本学術振興会（理事長 杉野 剛）は、ノーベル・プライズ・アウトリーチ（ノーベル財団広報部門）との共催により、「ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2022」を開催します。

ノーベル・プライズ・ダイアログは、世界各国からノーベル賞受賞者を含む著名な研究者や有識者が一堂に会し、社会にとって重要な問題を語り合う、参加費無料の公開シンポジウムです。広く一般の方に、科学技術・学術への理解を深めてもらうことを目的として行われ、日本での開催は5回目となります。

今回は「Water Matters 水から考える持続可能な未来」をテーマに、気候変動や水資源など水にまつわる様々な事象について科学的・社会的側面から迫ります。

●開催概要

日時：令和4年10月23日（日）10:00～17:00（予定）

場所：パシフィコ横浜 会議センター

主催：独立行政法人 日本学術振興会（JSPS）

ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB

特設ウェブサイト：

<https://www.nobelprize.org/water-matters-tokyo-2022/ja>

参加登録：令和4年9月9日（金）から

上記ウェブサイトにて受付開始。



ノーベル賞受賞者によるパネルディスカッション
（ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2019：平成31年3月）

●登壇予定のノーベル賞受賞者（6名）

- ・ピーター・アグレ 2003年ノーベル化学賞受賞
- ・天野 浩 2014年ノーベル物理学賞受賞
- ・ティム・ハント 2001年ノーベル生理学・医学賞受賞
- ・コンスタンチン・ノボセロフ 2010年ノーベル物理学賞受賞
- ・ダニエル・シェヒトマン 2011年ノーベル化学賞受賞
- ・クルト・ヴェートリッヒ 2002年ノーベル化学賞受賞

< 開催概要 >

ノーベル・プライズ・ダイアログ東京は、学術・科学技術への社会の方々の関心を高め、学術の振興に寄与するため、国内外のノーベル賞受賞者を含む著名な研究者・有識者を招いて行う、公開の国際シンポジウムです。

ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB が平成 24 年から毎年、ノーベル賞授賞式前日の 12 月 9 日にスウェーデンにて実施している公開シンポジウム「ノーベル・ウィーク・ダイアログ」を、日本学術振興会とノーベル・プライズ・アウトリーチ AB の共催により開催するもので、平成 27 年 3 月にスウェーデン国外としては初めて、日本において開催しました。日本での開催は 5 回目となります。

1. 会議の名称

英文名：Nobel Prize Dialogue Tokyo 2022

和文名：ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2022

2. テーマ

Water Matters 水から考える持続可能な未来

3. 開催日時

令和 4 年 10 月 23 日（日）10 時～17 時（予定）

4. 開催場所・形式

パシフィコ横浜会議センター（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

* 対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式

5. 主催

独立行政法人日本学術振興会（JSPS）

ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB（ノーベル財団広報部門）

6. 後援

文部科学省、環境省、横浜市、スウェーデン大使館

7. 言語

英語（日英同時通訳付き）

8. 参加者数

500 名程度

9. 参加費

無料

10. 申し込み方法

特設ウェブサイト（<https://www.nobelprize.org/water-matters-tokyo-2022/ja>）にて、令和 4 年 9 月 9 日（金）より参加登録受付開始。

<プログラム（予定）>

10:00	開会
	地球の水循環 気候変動への取り組み 水の生理学 賢く水を使う
12:45 頃	昼休憩
14:15 頃	水質を確保する 防災に向けて 生物多様性を守る ノーベル賞受賞者等による総括パネルディスカッション
17:00	閉会

※プログラムの内容は順次更新されます。また予告なく変更になる可能性があります。

<主な登壇予定者（敬称略、姓のアルファベット順）>

- ピーター・アグレ * オンライン
2003年ノーベル化学賞受賞

- 天野 浩 * オンライン
2014年ノーベル物理学賞受賞

- ティム・ハント * オンライン
2001年ノーベル生理学・医学賞受賞

- コンスタンチン・ノボセロフ
2010年ノーベル物理学賞受賞

- ダニエル・シェヒトマン
2011年ノーベル化学賞受賞



● **クルト・ヴェートリッヒ**

2002年ノーベル化学賞受賞

● **藤垣 裕子**

東京大学大学院総合文化研究科 教授
(東京大学 理事・副学長)

● **今村 文彦**

東北大学災害科学国際研究所 所長・教授

● **泉 貴子**

東北大学災害科学国際研究所 准教授
環太平洋大学協会 (APRU) マルチハザードプログラムディレクター

● **小熊 久美子**

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授

● **沖 大幹**

東京大学 総長特別参与、教授

● **アダム・スミス**

ノーベル・プライズ・アウトリーチ AB チーフ・サイエンティフィック・
オフィサー

● **高橋 桂子**

早稲田大学総合研究機構グローバル科学知融合研究所 上級研究員・研究
院教授

※登壇予定者は、予告なく変更する可能性があります。

※登壇予定者の情報は、特設ウェブサイトにも掲載しています。また、今後決定する方についても、順次ウェブサイト上で情報を追加する予定です。

＜ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2022 運営委員会委員名簿＞

委員長 杉野 剛	独立行政法人日本学術振興会 理事長
今村 文彦	東北大学 災害科学国際研究所 教授 (所長)
沖 大幹	東京大学 大学院工学系研究科 教授
高田 秀重	東京農工大学 大学院農学研究院 教授
高橋 桂子	早稲田大学 総合研究機構 グローバル科学知融合研究所 上級研究員・研究院教授
鳥越 皓之	大手前大学 大学院比較文化研究科 研究科長
藤垣 裕子	東京大学大学院総合文化研究科 教授 (東京大学 理事・副学長)

(敬称略、五十音順)

＜協賛企業（アルファベット順）＞

ノーベル・インターナショナル・パートナー：

3M、ABB、Capgemini、SCANIA

特別スポンサー：

サントリーホールディングス株式会社

＜過去の開催実績＞

(第1回) ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2015

日時：平成27年3月1日(日)

場所：東京国際フォーラム

テーマ：The Genetic Revolution and Its Future Impact

生命科学が拓く未来



講演者数：25名（うち、ノーベル賞受賞者7名）

（第2回）ノーベル・プライズ・ダイアログ東京2017

日時：平成29年2月26日（日）

場所：東京国際フォーラム

テーマ：The Future of Intelligence

知の未来～人類の知が切り拓く人工知能と未来社会～

講演者数：36名（うち、ノーベル賞受賞者5名）

（第3回）ノーベル・プライズ・ダイアログ東京2018

日時：平成30年3月11日（日）

場所：パシフィコ横浜 会議センター

テーマ：The Future of Food

持続可能な食の未来へ

講演者数：30名（うち、ノーベル賞受賞者5名）

（第4回）ノーベル・プライズ・ダイアログ東京2019

日時：平成31年3月17日（日）

場所：パシフィコ横浜 会議センター

テーマ：The Age to Come

科学が拓く明るい長寿社会

講演者数：19名（うち、ノーベル賞受賞者5名）

本件問い合わせ先：

独立行政法人日本学術振興会 国際統括本部 国際事業部

研究協力第一課 課長 清水 和子

TEL：03-3263-1793 FAX：03-3234-3700 E-mail：nobelprizedialogue@jsps.go.jp